

(株) 秋吉

道内初、ヘルパー付きの観光サービス 高齢者や家族に「夢たび」をスタート

（株）秋吉では2015年から高齢者など、介護を必要とする人とその家族が旅行を楽しむことができるよう、外出支援ノウハウ

や旅行知識を備えた専門スタッフがサポートする「夢たび」サービスを開始。このサービスは、不動産事業を主軸に福祉施設運営を行う秋吉社社長が発案によるもの。



入浴専用車やいす、手すりなどの用具は自社で準備するためバリアフリー対応が十分ではない施設でも旅行を楽しむことができる

たいのに家族に遠慮していい出せないでいるのを知ったことだった。近年はいわゆるユニバーサルデザインツアー

直接のキツカケは、運営施設に入居している高齢女性が温泉旅行に行き

社長は「旅行知識を兼ね備えた専属のヘルパーが同行し、旅行全体を支援する事業をはじめることにした」という。

特徴は介護福祉士、社会福祉士、ホームヘルパーなどの有資格者に対し「旅行業の知識と接客・接遇の専門研修を行ったうえで、試験に合格した人

エヌピーツーリストサービス(株)
枝並誠治さん



秋吉社長とは昨年、バリアフリー観光の関係でお会いしました。不動産事業を展開しながら、高齢者・障がい者の観光という観点で新しい事業を進めています。とくに温泉旅館での介助者付きサポートは北海道で注目されています。

のみを自社の社員「夢たびへルパー」として専属契約する」というもの。夢たびヘルパーは現役で介護職に従事している人に限定し、旅行前には本人とその家族と面談するなど、安心感の提供にも配慮している。ヘルパー付きの旅行サポートを行うのは道内初、全国でも数社あるだけだそう

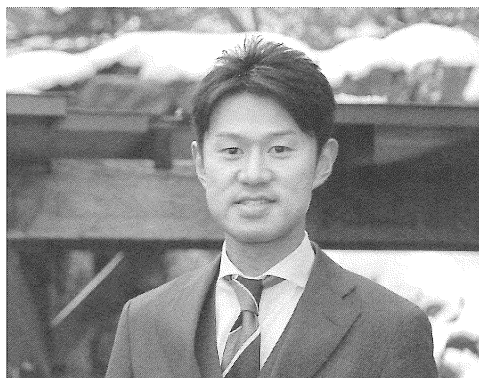
秋吉社長によると、国内には要介護者を旅行に連れていくことが親孝行になると考える人がおよそ7割いる一方で、実際に旅行経験がある人

は3割程度と大きなギャップがある。だからこそ「こうしたニーズにアプローチすれば国内観光需要を喚起するだけでなく、保険システムに依存している介護業界のサービスの底上げやヘルパーの賃金へ反映させることができる」と。札幌市もこのビジネスに注目し「健康関連産業ビジネスモデル構築支援事業」（16年度）に採択。社会性のある事業として認められた。

サービス開始から1年半ほど経過した現在、旅行プランナー1人と専属ヘルパー10人という体制で運営しているが、道外からの問い合わせも多いため、今後は本州エリアの企業やホテル、宿泊施設なども提携し、プランや人員の拡充をはかっていく方針だという。



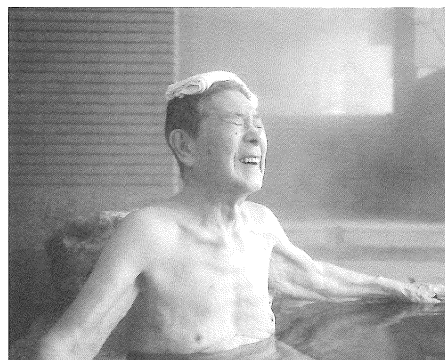
社長のひとこと
QRコード対応のスマートフォンで読み取ることができます。



同社の前身は登別で94年続いた温泉旅館であり、「当社のルーツは旅行業」と語る秋吉社長

■組織概要
所在地・札幌市中央区南1条西21-4-1（第5藤井ビル8階）
011-211-1424 / 設立1964年 / 従業員8人 / 資本金1500万円
<http://www.yume-tabiji.jp>

社長の採点	
企画開発	☆☆☆☆☆
営業力	☆☆☆
成長力	☆☆☆☆☆
収益力	☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆
計画性	☆☆☆☆☆
リスクマネジメント	☆☆☆



人気プランは温泉、食事、ショッピング。普段介護を受けながら生活している人にとって旅行は大きな癒やしや活力となるようだ